

## 第1回豊明市下水道事業経営検討委員会議事録

- 1 日時 2024（令和6）年4月15日（月）午後2時～午後3時30分
- 2 会場 豊明市役所 新館3階 政策審議室
- 3 出席者 委員 7名出席  
事務局 市長、経済建設部長、下水道課長、下水道課長補佐兼工務担当係長、業務担当係長、業務係員  
傍聴者 0名
- 4 議事 (1) 豊明市下水道事業の現状と課題について  
(2) 公共下水道未普及地区の整備方針について

### 5 議事内容

#### ■小浮市長あいさつ

下水道事業経営検討委員会の委員をお引き受けいただき、そして本日までご出席いただきまして本当にありがとうございます。

本委員会は常設されている委員会ではありません。本市の下水道は、事業を見直す時期に来ており、各委員の方々からご意見を賜りたいと考え、委員会の設置に至りました。

まず、公共下水道の未普及地区の整備方針について、どこまで下水道の整備をするのが、豊明市として最善であるのかを議論いただきたいと考えています。能登半島地震でも下水道の復旧が課題となっていますが、豊明市でも「管路の更新」や「耐震化」などの対策を進めないといけない状況にあり、公共下水道区域が広くなり過ぎると、管路を更新する範囲も広くなるため、経営は難しくなります。

また、使用料を財源として下水道事業を行っていく中で、整備方針と併せて、経営戦略の見直しや使用料の在り方についても議論いただきたいと思います。下水道事業は企業会計で事業を行っており、本来的には下水道事業が負担すべき費用については、すべて使用料によって賄うべきですが、使用料を上げ過ぎても各ご家庭の負担が重くなってしまいます。

委員の皆様には、「公共下水道の普及地域がどれぐらいなのか」、「下水道使用料として受け入れていただける範囲がどれぐらいなのか」など、今後の下水道事業として、どのような方針が最善なのかを検討いただきたいと思います。

忌憚のないご意見をお願いいたします。

事務局（下水道課長）より資料1-1（豊明市下水道事業経営検討委員会設置条例）に基づき、委員会の役割及び委員の任期等について説明

■委員長・副委員長の互選

委員長選任 齊藤委員の推薦により、井澤委員が委員長に選任される。

副委員長選任 齊藤委員の推薦により、石黒委員が副委員長に選任される。

委員長・副委員長あいさつ

諮問 市長から委員長に諮問書を手渡し

■審議会の公開について

事務局（下水道課長）より資料1－2（豊明市下水道事業経営検討委員会の公開等に関する取扱要領）に基づきに基づき説明

傍聴人0名

■議事

（1）豊明市下水道事業の現状と課題について

（2）公共下水道未普及地区の整備方針について

事務局（下水道課長、下水道課長補佐、業務担当係長）より資料3・4・5に基づき説明

●質疑

委員 全体計画の中にある未整備地域をすべて整備したら約50億円かかるという話だったが、総費用ということか。また、それはいつ試算したのか。  
事務局 総費用。2020年ぐらいに試算した金額であり、経費が高くなってきているので、現在はもっと高くなっているかもしれない。

委員 未普及地域で下水道の整備を進める場合は、各家庭での負担はあるのか。  
事務局 受益者負担金の納付が必要になる。また、宅地内の配管工事が必要な場合は、自費で施工していただく。

委員 また、接続後は下水道使用料の納付が必要になる。  
委員 今の話を整理すると、接続時にかかる費用は、事業者に対して支払う工事費と下水道課に対して支払う負担金の2種類ということか。  
事務局 接続時にかかる費用はそうなる。

委員 受益者負担金の額は、どのような計算で決まるのか。  
事務局 整備費から受益者負担金の単価を決める。その単価に各受益者の敷地面積を掛けて受益者負担金額が決まる。

- 委員 未普及地区の整備をすることによる影響で、すでに下水道を使っている家庭の下水道使用料が上がることはあるのか。
- 事務局 維持管理の費用が大きくなるので、それに見合った使用料収入になるように見直しが必要になると思われる。
- 委員 公共下水道への接続は市街化区域だけで、市街化調整区域でも公共下水道の区域があるのか。
- 事務局 沓掛町の一部地域では、公共下水道の区域がある。令和2年度までは農村集落家庭排水施設事業だったが、沓掛浄化センターが老朽化したことで、公共下水道に切り替えたという経緯がある。
- 委員 この委員会では、市街化区域に編入される地域の下水道計画も対象か。
- 事務局 市街化区域に編入される予定の地域については、区画整理によって下水道も整備される予定になっているため、今回の委員会の対象ではない。
- 委員 全体計画の中で市街化調整区域のエリアをどのような排水処理方法にするのかが、今回の議論のテーマという理解でよいか。
- 事務局 そのとおり。
- 委員 様々な面から費用負担や市の財政負担などの比較をすべきなので、分かりやすい比較データを事務局から出してもらいたい。
- 事務局 了解した。
- 委員 経営的に他市町と比較してどうなのか。
- 事務局 経常収支比率は、人口や資本費の規模に近い自治体と比較すると、平均値を若干下回っている。
- 委員 使用料はどうか。
- 事務局 近隣市町と比較した場合、平均的な金額である。
- 委員 国が示している基準である1㎡あたりの使用料単価150円を目指す必要があると思う。また、近隣市町との比較はとても気になるが、愛知県内は全体的に下水道使用料が安いので、近隣市町との比較よりも県外の類似団体との比較が適切だと考える。
- 委員 一般会計からの繰り入れはいつ頃からしているのか。
- 事務局 事業が始まった当初から。
- 委員 今後のスケジュールは。
- 事務局 6月頃には意見交換会という形で地元住民の方々の意見を伺いたいと考

えている。

委員 上水道と併せて下水道使用料を払うのが大変だという話をよく聞く。一方で、浄化槽も年に数回は維持管理費を支払う必要がある。その辺りの費用比較ができるような資料があれば分かりやすいと思う。

事務局 そういった資料を用意する。意見交換会で伺った意見を第2回委員会で報告する。

委員 住民の方からの意見を伺った上で、第2回委員会では話し合うべきポイントを2～3個にまとめられると議論がしやすいかと思う。  
費用と便益の関係、家計・下水道財政の問題点、これらをどう説明したら住民の皆さんに納得してもらえるかを含めた議論が必要になる。

#### ■その他

次回の委員会は、2024（令和6）年7月予定。